

教育振興基本計画に基づいた取組

●発行元●
大阪市教育局教育政策課
電話：(06)－6208－9027
令和7年3月31日 第10号

英語教育の強化について

教育振興基本計画での位置づけ

最重要目標2	基本的な方向4	施策4-3	掲載ページ	
未来を切り拓く 学力・体力の向上	誰一人取り残さない 学力の向上	◎ 言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成) ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別支援の充実) ◎ 英語教育の強化 ○ 全市共通テスト等の実施と分析・活用	第1編 p.12	第2編 p.36

本市では平成25年度（2013年度）から、児童生徒の豊かな語学力・コミュニケーション能力等を育成する取組を進めてきました。これまで取り組んできた小中学校9年間を見通した英語教育の取組を更に推進するとともに、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の英語4技能の総合的な育成に取り組んでいきます。

教育振興基本計画の目標指標

*1 C E F R A 1レベル（英検3級）相当以上の
英語力を有する中学3年生の割合
【本市調査（大阪市英語力調査）】

*1 CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment): 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠。A1は英検に換算すると3級程度。国の第4期教育振興基本計画における目標指標はR9までに60%以上。

令和7年度末
までの目標

56%

達成

令和6年度
57.5%

本市英語教育の取組

本市独自の「小学校低学年からの英語教育（短時間モジュール学習）」やC-NETの活用、GTECを活用した授業改善プログラム等、小中9年間を見通した総合的な英語教育の取組により令和6年度のCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合は57.5%を達成しました。
小学校、中学校それぞれの先生の熱心な指導が着実に成果につながっています。



各学年のスムーズな接続のために学習到達目標（CAN-DOリスト）を作成しています。

大阪市版CAN-DOリスト ▶



GTECを活用した授業改善

多聴・多読の取組

短時間モジュール学習

C-NETの活用

イングリッシュ・デイ

巡回訪問・専科教員研修

小中連携研修

低学年

中学年
外国語活動

高学年
外国語科

中学校
外国語科

大阪市の子どもたちの英語力

◆ 大阪市英語力調査により測定

生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てることを目的に実施しています。

- 実施テスト GTEC Core（英語4技能型テスト）
- 調査対象 大阪市立中学校第3学年及び義務教育学校第9学年全生徒

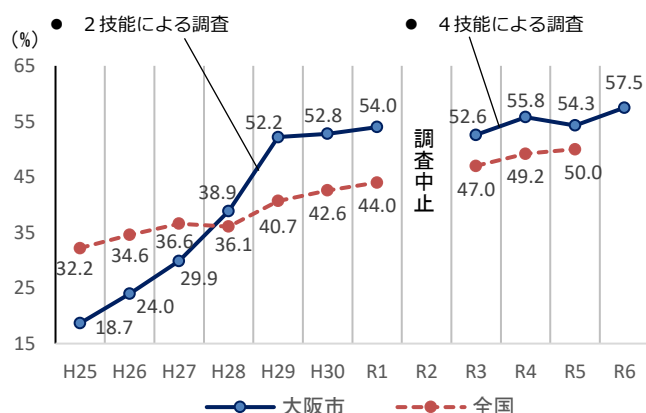
◆ 4技能別調査結果

令和6年度	Listening	Reading	Speaking	Writing	TOTAL	CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合
大阪市平均	104.6	105.7	102.1	149.6	464.8	57.5%
*2他都市平均	105.0	100.0	99.0	151.0	457.0	—
差	-0.4	+5.7	+3.1	-1.4	+7.8	—
【参考】令和5年度						
大阪市平均	107.7	101.3	102.2	137.9	451.8	54.3%
他都市平均	106.0	100.0	97.0	156.0	461.0	—
差	+1.7	+1.3	+5.2	-18.1	-9.2	—

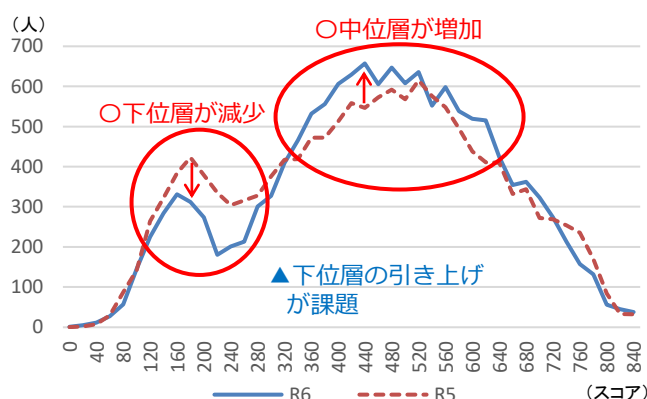
- CEFR A1レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合は、前年度から3.2ポイント上昇
- 昨年度、課題であったライティング技能が改善

*2 他都市平均とは、GTECを実施した全国約970校、約10万人の平均値

◆ CEFR A1レベル相当以上の生徒の割合の推移



◆ GTEC結果の度数分布経年比較



小学校短時間モジュール学習（小学2年生）

【Let's sing】アルファベットの歌でWarm up
文字を指さしたり、体を動かしたりしながら歌う

【Activity 1】Color Touching Game
色の名前を聞いて、カードを取ることができるようにする

【Activity 2】Color BINGO
初頭の文字をヒントに、色を英語で言えるようにする
スモールステップで指導することで、色の英語を読もうとする力がつきます



中学校AIを活用した英語学習（中学1年生）

Microsoft Teams [課題]機能・Reading Progress

【Step 1】音読練習・課題提出
まとまりのある文章を音読練習し、録画した動画・音声提出

【Step 2】AIによる自動採点と教員による中間指導
音読の中で再度練習が必要となった語の発音や意味を確認

【Step 3】フィードバックをもとに個別練習
苦手な単語を何度も練習し、流暢に音読できるようにする
生徒の主体的な学びを促進し、自信をもって流暢に音読する力がつきます

